

平成28年度 産業観光局 運営方針

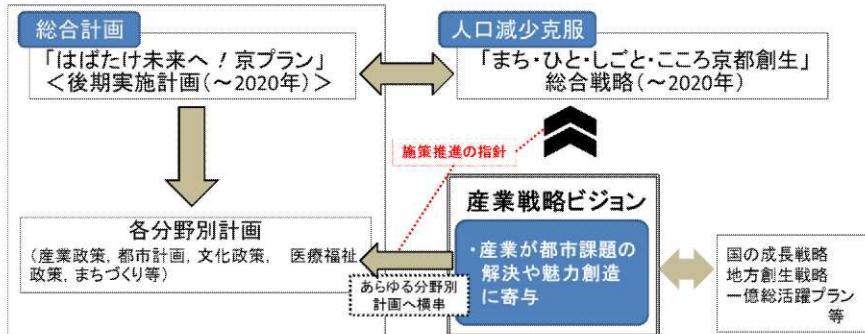
目次

1 平成28年度 産業観光局の政策・施策推進方針	・・・ 1
2 平成28年度 産業観光局運営の総括表	・・・ 3
3 平成28年度 重点取組の概要	・・・ 8
4 平成28年度 予算の概要	・・ 16

平成 28 年度 産業観光局の政策・施策推進方針

平成 27 年度に、産業振興を通じて社会課題の解決や都市の魅力創造に寄与することを目指し、産業、経済活性化の視点から横断的に、複数の分野にわたる施策の方向性を「産業戦略ビジョン」として取りまとめました。

「産業戦略ビジョン」に示す考え方沿って、本ビジョンの上位計画である「はばたけ未来へ！京プラン」、「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略の早期完遂に向けて、各局との強固な連携の下、産業分野に留まらず、文化、観光、まちづくり、福祉など、市政全般にわたり様々な施策が展開できるよう取り組んでいきます。



重点テーマ：市民所得の向上

市民が豊かさを実感できる安定した雇用の創出と市民所得の向上

<基本・重点方針>

1 成長戦略の推進と中小企業の下支え（「稼ぐ力」と「経済の域内循環の構築」）

- (1) 地域経済を支え、牽引する中小企業の下支えや成長支援、新産業・新事業の創出、企業誘致や流出防止等により、京都の稼ぐ力を向上させるとともに、経済の域内循環を構築し、京都経済の量的拡大を図る。
- (2) 文化庁の京都移転をはじめ、京都の強みである文化など地域資源を活かした取組みを進め、世界があこがれる観光都市の実現及び世界に冠たる国際 MICE 都市への飛躍を目指すとともに、その経済効果を伝統文化・伝統産業の活性化、地域商業・商店街の振興、農林業の振興など、あらゆる産業分野と融合し、京都経済全体の活性化に波及させる。

2 産業政策と雇用政策の一体的な推進

- (1) 産業政策・雇用政策を一体的に実施し、京都で働くことを希望する若者と、京都の中小企業との出会いの支援により安定雇用の創出や担い手確保を推進する。
- (2) 不本意非正規の正規雇用への転換や高齢者や女性、障害のある方など、多様な労働参加の促進を通じて、雇用の質の向上を目指す。

3 中央卸売市場整備の推進

安心・安全な生鮮食料品・食肉の安定供給と食文化の拠点である「京都市中央市場」及び「京都市中央市場（食肉市場）」の整備を推進するとともに、産地支援、京の食文化の発信・継承や食育などを推進する。

◆ 項目（基本・重点方針） ◆

- ①地域経済を支え、牽引する中小企業の下支えや成長支援、
- ②新産業・新事業の創出、
- ③企業誘致や流出防止、
- ④伝統産業の活性化、
- ⑤地域商業・商店街の振興、
- ⑥世界があこがれる観光都市の実現及び世界に冠たる国際 MICE 都市への飛躍、
- ⑦農林業の振興、
- ⑧不本意非正規の正規雇用化など、安定雇用の創出や担い手確保、
- ⑨中央卸売市場整備の推進

産業観光局における事業推進に当たっての基本方針

事業の推進に当たっては、「職員力」「チーム力」を高めるとともに、市民・事業者に政策をしっかりと伝え、理解・共感していただくことが重要である。以下の2点を重点項目と位置づけ、産業観光局の運営体制を強化していきます。

1 職員の育成と働き方改革

職員一人ひとりの能力を最大限に引き出すとともに、局の一体感を高め、組織力・執行体制の強化を図ります。

- ① 人事評価を活用した目標の明確化、適正な評価と個性に応じた指導、職務を通じた育成により、職員の能力を最大限に引き出し、強い責任感と「やり遂げる力」を育てる。
- ② 課題を共有できる風通しの良い環境づくり、挨拶の励行などから始まる職員間の「伝え合う力」を向上させ、局内の活性化、組織力・執行体制の強化につなげる。
- ③ 局内会議、内部資料の見直し等、合理的な手法による「働き方改革」を推進することで、真のワーク・ライフ・バランスを追求する。

2 市民・事業者に伝わり活動を促す広報「伝える力」の強化

広報の目的に応じて、発信の手法やメッセージの内容を変えるなど、「到達主義」を目指す広報研修の実施や、局内表彰制度により、良い事例を共有する等、職員全体の「伝える力」を強化します。

<参考>

○京都市産業戦略ビジョン（平成28年4月～平成33年3月）

京都市産業戦略ビジョンでは、産業全体の振興を図り、安定した所得と雇用を生み出すとともに、地域経済の好循環を実現し、産業活動の振興のみならず、社会課題の解決や都市の魅力創造に寄与することを目指すため、多様な産業分野における課題の解決や産業活動の器である都市全体の魅力創造に寄与する施策の展開の方向性を広くとりまとめています。

【施策展開の方向性】

成長市場を獲得する新たな産業分野の振興

- 成長市場の獲得、新ビジネスの創出
- サービス分野の振興による産業連関の強化と産業の高付加価値化
- 海外市場や首都圏市場の開拓

創造的なまちづくり

- 世界規模の交流環境整備、グローバルに活躍できる人の育成
- 若者の意欲や力を引き出すビジネス環境の創出

だれもが働きやすい職場や技術、ノウハウを継承できるビジネス環境の整備

- 働きやすい職場環境の整備、雇用の質の向上
- 新たな企業の誘致、企業の立地環境の整備
- 事業や技術の継承
- 企業の地域貢献

(URL:<http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000196354.html>)

平成28年度産業観光局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成28年度重点取組			
	取組名	目標	計画・条例等	所属等
地域経済を支え、牽引する中小企業の下支えや成長支援	1 中小企業支援の拠点となる京都経済センター（仮称）の整備	工事着手	はばたけ未来へ！京プラン	産業政策課
	2 首都圏を中心とした京都情報の発信強化事業	リニューアルに向けたモデル事業の実施	はばたけ未来へ！京プラン	産業政策課
	3 中小企業海外展開支援事業	国内外で中小企業の海外ビジネスをサポートするため、ジェトロ京都貿易情報センター やオール京都の支援機関と連携し、総合的に支援	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
	4 中小企業金融支援事業	経済情勢に的確に対応した資金繰り支援	はばたけ未来へ！京プラン	中小企業振興課
	5 中小企業振興会議（仮称）の創設	会議で検討され、実行につながった振興策の件数：3件	はばたけ未来へ！京プラン	中小企業振興課
	6 中小企業等チャレンジ支援事業	支援した業界団体の会員事業者の中小企業等チャレンジ支援事業満足度：80%	はばたけ未来へ！京プラン	中小企業振興課
	7 中小企業経営支援体制の強化	経営相談件数（経営支援員10名分）：3,714件	はばたけ未来へ！京プラン	中小企業振興課
	8 未来創造型企業支援プロジェクト	Aランク認定企業数：6社	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
	9 中小企業パワーアッププロジェクト	オスカー認定企業数：13社	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
	10 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業	企業の海外展開件数：6社	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
	11 京都市未来創生企業成長プロジェクト	創業件数：1件	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
	12 京都市成長産業創造センター運営	・大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトの推進 ・研究成果の地元中小企業等への橋渡し ・産学公交流の場の提供による幅広い情報交流の促進及び新たな連携の創出	—	新産業振興室
	13 中小企業成長・下支えリーディング事業	研究開発の推進：4件	地方独立行政法人京都市産業技術研究所中期目標	地方独立行政法人京都市産業技術研究所
	14 京都市産業技術研究所創設100周年記念事業	記念すべき節目の年を祝賀し、また次代に向けた飛躍の契機とする	地方独立行政法人京都市産業技術研究所中期目標	地方独立行政法人京都市産業技術研究所

基本方針・重点方針	平成28年度重点取組			
	取組名	目標	計画・条例等	所属等
新産業・新事業の創出	1 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業	「これからの中1000年を紡ぐ企業認定」における認定企業数：5社	京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想	中小企業振興課
	2 京都市グリーン産業振興ビジョン推進事業	プロジェクト創出数：7件	京都市グリーン産業振興ビジョン	新産業振興室
	3 京都市ライフイノベーション推進戦略事業	プロジェクト件数：10件	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
	4 コンテンツ産業推進事業	コンテンツ関連商品の開発数：100種類	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
企業誘致や流出防止	1 戦略的企業誘致の推進	企業立地促進制度指定件数：10件 企業訪問件数：150件	はばたけ未来へ！京プラン	新産業振興室
伝統産業の活性化	1 第3期京都市伝統産業活性化推進計画（仮称）の策定	第3期京都市伝統産業活性化推進計画（仮称）の策定	京都市伝統産業活性化推進条例	伝統産業課
	2 京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業	観光や販売促進の視点を取り入れた・京都伝統産業ふれあい館の機能強化	第2期京都市伝統産業活性化推進計画	伝統産業課
	3 京もの海外進出支援事業	・新商品の開発 ・国際見本市への出展・展示商談会の開催	第2期京都市伝統産業活性化推進計画	伝統産業課
	4 伊藤若冲生誕300年記念伝統産業活性化支援事業	産地組合等が実施する伊藤若冲に関する販路開拓・产地宣伝等に対する補助事業の実施。	はばたけ未来へ！京プラン	伝統産業課
地域商業・商店街の振興	1 商店街等支援事業	・商店街で実施するハード整備やソフト事業に対する補助事業の実施 ・各商店街の課題等に応じた支援策の実施	京都市商店街の振興に関する条例 はばたけ未来へ！京プラン	商業振興課
	2 都心部地域商業活性化事業	・交流の場づくり：2回 ・活性化イベント等：1回	—	商業振興課
	3 空き店舗流通促進モデル事業	新規出店件数：10件	はばたけ未来へ！京プラン	商業振興課
	4 伊藤若冲生誕300年記念商業活性化支援事業	支援件数：5件	はばたけ未来へ！京プラン	商業振興課

基本方針・重点方針	平成28年度重点取組			
	取組名	目標	計画・条例等	所属等
世界があこがれる観光都市の実現及び世界に冠たる国際MICE都市への飛躍	1 京都観光を総合的に担う推進体制（DMO）の構築及び観光案内機能の強化	・京都にふさわしいDMO組織のあり方検討及び国制度における登録申請 ・観光案内コーナーを三条河原町に新設	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	2 京都市認定通訳ガイド（特区通訳案内士）の活躍支援	京都市認定通訳ガイドの認定：50名	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	3 外国人観光客の貢物環境向上事業	京都観光総合調査における外国人観光客の個別消費額（土産代）：前年比10%増	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	4 京都・花灯路事業	東山花灯路 来場者数：120万人 貢物飲食等消費額：76億円 嵐山花灯路 来場者数：120万人 貢物飲食等消費額：76億円	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	5 京の七夕事業	来場者数：80万人 貢物飲食等消費額：36億円	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	6 複数自治体連携による海外富裕層誘客	京都観光総合調査における外国人観光客の個別消費額（合計）：前年比10%増	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	7 京都の食を活かした観光による地域活性化事業	京都の食を活用したモニターチャーの実施数：2回	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	8 グローバルMICE都市としてのMICE戦略推進事業	国際会議の開催件数：前年以上の件数	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室
	9 旅館やホテルをはじめとする安心・安全で多様な宿泊環境の充実	「宿泊施設拡充・誘致方針（仮称）」の策定	京都観光振興計画2020	観光MICE推進室

基本方針・重点方針	平成28年度重点取組			
	取組名	目標	計画・条例等	所属等
農林業の振興	1 担い手育成支援事業	担い手（認定）農業者数：210 経営体	京都市農林行政基本方針	農政企画課
	2 新規就農総合支援事業	青年就農給付金交付：30名	京都市農林行政基本方針	農政企画課
	3 京の旬野菜推奨事業	・認定農家の拡大：720戸 ・残留農薬調査：8品目10検体	はばたけ未来へ！京プラン	農業振興整備課
	4 京の食文化を支える京野菜の生産・流通・消費体制強化事業	京野菜の生産拡大と消費増大	京都市農林行政基本方針	農業振興整備課
	5 「京の花」産業振興戦略の推進	京都市花き卸売市場での取扱高 増額	京都市農林行政基本方針	農業振興整備課
	6 農業・農村多面的機能強化事業	活動区域における農業振興地域 農用地面積の維持	京都市農林行政基本方針	農政企画課 農業振興整備課
	7 農業用施設防災・減災対策事業	取水ゲート電動化3箇所	雨に強いまちづくり推進計画	農業振興整備課
	8 農業用水路に治水機能を付加した雨に 強いまちづくり推進事業	引継水路	農業用利水のある水路等などの維持管理ルール	農業振興整備課
	9 京都京北未来かがやきビジョンの推進 京北京野菜生産応援事業	生産量の増加	京都京北未来かがやきビジョン	農業振興整備課
	10 京都京北未来かがやきビジョンの推進 京北水田フル活用プロジェクト生産基盤の整備	整備面積：1ha	京都京北未来かがやきビジョン	農業振興整備課
	11 京都京北未来かがやきビジョンの推進 京北森林公園利用促進事業	森林公園内の遊具や案内看板などの充実	はばたけ未来へ！京プラン	林業振興課
	12 京都京北未来かがやきビジョンの推進 京都“悠久の灯”プロジェクトの推進	ブドウハゼの移植等、養成	はばたけ未来へ！京プラン	林業振興課
	13 災害に強い森づくりの推進	未利用木材の搬出量の増加	はばたけ未来へ！京プラン	林業振興課
	14 京都らしい森づくりの推進	・竹林再生の実施面積：0.6ha ・森林再生施業の実施面積：2ha	はばたけ未来へ！京プラン	林業振興課 農政企画課
	15 木のあるまちづくりの推進	・駒札設置数 50箇所/年度 ・市内産木材の情報発信強化	はばたけ未来へ！京プラン	観光MICE推進室 林業振興課

基本方針・重点方針	平成28年度重点取組				
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	
不本意非正規の正規雇用化など、安定雇用の創出や扱い手確保	1 京都企業扱い手確保・定着支援事業	京都市内の中企業への就職者数（150人／年）	はばたけ未来へ！京プラン	産業政策課	
	2 京都次世代ものづくり産業正規雇用創出プロジェクト	産業政策と雇用政策が一体となった、安定的で良質な雇用の創出（220人／年（本市実施事業分））	はばたけ未来へ！京プラン	産業政策課	
中央卸売市場整備の推進	1 中央卸売市場の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な生鮮食料品の安定供給に向けた取組の推進 ・文化と健康を守る食生活・食習慣の普及促進 ・災害発生時における拠点機能の強化 ・水産棟改修等の設計 ・設計が完了した各仮設店舗等の建設 	京都市中央卸売市場第一市場マスタープラン 京都市中央市場施設整備基本計画	中央卸売市場第一市場	
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な食肉の流通 ・新施設に向けた、市場本棟建設計工事着手 ・卸売会社に対する経営改革に向けた指導・支援等 	京都市中央卸売市場第二市場「京（みやこ）ミートマーケット」マスタープラン	中央卸売市場第二市場	

3 平成28年度重点取組の概要

○地域経済を支え、牽引する中小企業の下支えや成長支援

1 中小企業支援の拠点となる京都経済センター（仮称）の整備（産業政策課）

様々な知恵が融合し新たな価値を生み出す「交流と融合」の場を提供し、京都経済の活性化に資とともに、新たな時代に相応しい中小企業支援機能を蓄積し、中小企業が抱える課題解決や繊維産業の振興に京都の総合力を結集して取り組むための総合支援拠点を整備します。

また、その立地を活かして、多くの人々が集まり、交流するにぎわい施設を設け、都心部の魅力向上と活性化を図ります。

2 首都圏を中心とした京都情報の発信強化事業（産業政策課）

首都圏における京都の総合情報発信拠点である「京都館」について、情報発信力を向上させる観点から、機能の抜本的な見直しを行い、それを踏まえて京都館をリニューアルします。そのために、新たな魅力発信モデル事業を実施し、事業の具体化を図ります。

3 中小企業海外展開支援事業（新産業振興室）

豊富な海外展開支援策と海外ネットワーク（55箇国に74事務所）を持つ独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）や京都の支援機関と連携し、京都企業の海外展開や新たな海外需要の取込みを支援します。海外展開支援コーディネーターを配置し、ジェトロ京都貿易情報センターやオール京都の支援機関と連携した総合的な支援体制の下で、中小企業の経営課題に応じた施策の活用をサポートします。

4 中小企業金融支援事業（中小企業振興課）

京都府との協調による融資制度の更なる推進を図り、市内中小企業者に事業資金を円滑に供給します。
(URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000119631.html>)

5 中小企業振興会議（仮称）の創設（中小企業振興課）

中小企業が持続的に発展していくため、直面している経営課題について、業種横断的に議論し、関係者の知恵と力を結集し、「現場の声」を反映した実効性ある振興策を検討・推進していく場として、「中小企業振興会議（仮称）」を創設します。

6 中小企業等チャレンジ支援事業（中小企業振興課）

中小企業等で構成する業界団体が、専門家の助言を得ながら、自らの強み・弱みを分析し、課題の解決やイノベーションの創出など業界全体の活性化を図る取組に対し、「中小企業等チャレンジ支援事業」による支援を行います。

7 中小企業経営支援体制の強化（中小企業振興課）

平成24年4月に、本市の経営相談窓口を、京都商工会議所、京北商工会の相談窓口に一元化し、新たに10名の経営支援員を配置するなど、よりきめ細かい支援体制を確立しました。

これにより中小企業支援体制の強化を図り、京都市内5箇所（京都商工会議所中小企業経営支援センターの洛央、洛北、洛南、洛西の4支部及び京北商工会）のより身近な相談窓口において、市、府、商工会議所の多様な経営・金融支援にワンストップでアクセスできるなど、中小企業支援を引き続き強力に進めています。

8 未来創造型企業支援プロジェクト（新産業振興室）

企業の事業プランを評価・認定する「ベンチャー企業目利き委員会」を核として、将来性の高いベンチャー企業の発掘から一貫したきめ細やかなサポートを行い、企業の更なる発展を加速させます。
(URL : <https://www.venture-mekiki.jp/>)

9 中小企業パワーアッププロジェクト（新産業振興室）

経営革新により持続的な成長が期待される企業への「オスカー認定制度」を核に、将来性の高い中小企業の発掘から育成まで一貫したきめ細やかなサポートを行い、更なる発展を加速させます。
(URL : <http://www.astem.or.jp/business/support/oscar>)

10 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業（新産業振興室）

京都市ベンチャー企業目利き委員会 A ランク認定や、オスカー認定、知恵創出“目の輝き”認定など、様々な認定制度を通じて発掘してきた有望なベンチャー・中小企業に対して、京都高度技術研究所や産業技術研究所が中心となって設立する支援協議会が、企業の海外展開に係る課題を分析して適切な支援策を検討・展開し、専任のコーディネーターが海外市場で求められる製品開発を支援することにより、次代の京都経済を担う新たなグローバル・ニッチ・トップ企業への成長を図ります。

11 京都市未来創生企業成長プロジェクト（新産業振興室）

ベンチャー企業の創業期支援及び京都市ベンチャー企業目利き委員会 A ランク認定企業、オスカー認定企業、知恵創出“目の輝き”認定などの各認定制度を通じて発掘された、独自の高い技術力や経営革新に取り組む中小ベンチャー企業を対象に、研究開発支援や、販路開拓支援等を展開し、地域経済や雇用創出に貢献する中堅企業への成長を支援します。

12 京都市成長産業創造センター運営（新産業振興室）

大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進して、「グリーン・イノベーション」（環境・エネルギー分野における技術革新）と「ライフ・イノベーション」（医工薬分野における技術革新）を実現し、付加価値の高い高機能性化学品を生み出すことにより、京都市域における産業競争力の確保と新規事業の創出を図ります。更に、研究プロジェクトの成果を地元の中小企業等に橋渡しとともに、産学公の交流の場を提供することにより、幅広い情報交流の促進と、新たな連携創出に取り組みます。

13 中小企業成長・下支えリーディング事業（地方独立行政法人京都市産業技術研究所）

中小企業の成長支援として、バイオライフサイエンスやグリーンイノベーション、京都の伝統文化を基軸とした新成長分野への市内中小企業の進出を支援するため、京都市産業技術研究所の得意技術を活用した研究開発を行います。また下支えの強化として、製品等の製造や研究開発の過程で発生する分析技術の高度化、不良対策、品質向上、生産効率の向上などの課題解決を図り、新製品の開発や商品化等を後押しします。

14 京都市産業技術研究所創設100周年記念事業（地方独立行政法人京都市産業技術研究所）

京都市産業技術研究所にとって平成28年（2016年）は、前身の一つである「京都市染織試験場」が大正5年（1916年）に設置されてから数えて100年という節目の年にあたります。この記念すべき節目の年を祝賀し、また、次代に向けた飛躍の契機とするため、記念事業を実施します。

○新産業・新事業の創出

1 京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター創造事業の推進（中小企業振興課）

農家を志す若者の就農支援や、すべてのひとが親しめる伝統産業製品の開発・販売など、ビジネスの手法で様々な社会的課題の解決を図ろうとする企業（社会的企業）に対し、認定制度の運用による社会的信用の付与や京都市ソーシャルイノベーション研究所を核とした産学官金の連携による各種サポート策の充実を図ります。

2 京都市グリーン産業振興ビジョン推進事業（新産業振興室）

「京都市グリーン産業振興ビジョン」に基づき、グリーン（環境・エネルギー）産業の創出を図るために、技術開発・製品開発に向けた産学又は企業間の橋渡しを行う体制を整備し、産学公連携によるプロジェクトの形成を進めるとともに、グリーン企業の販路開拓に向けた情報発信などの支援を行います。

（京都市グリーン産業振興ビジョン URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000186499.html>）

（スマートシティ京都プロジェクト URL : <http://www.smartcity-kyoto-project.jp/>）

（京都グリーンケミカル・ネットワーク URL : <http://www.kgc-net.jp/>）

3 京都市ライフイノベーション推進戦略事業（新産業振興室）

平成27年3月に策定した「京都市ライフイノベーション推進戦略」に基づき、「京都市ライフイノベーション創出支援センター」を創設し、京都発革新的医療技術研究開発助成事業を充実させるとともに、大学・病院・企業間のコーディネート活動を推進し、次世代医療分野、健康・福祉・介護分野等の事業化に向けて、京都発のライフイノベーションの創出を一層促進します。

(URL : <http://www.astem.or.jp/business/coordination/kyotolife>)

4 コンテンツ産業推進事業（新産業振興室）

マンガ・アニメの総合見本市「京都国際マンガ・アニメフェア」の開催等により京都におけるコンテンツ市場の拡大を図るとともに、マンガ家志望者向けの拠点「京都版トキワ荘事業」の整備等によりクリエイター人材を育成します。また、これまでの取組等を踏まえ、コンテンツ産業の一層の振興に向けた新たな方針を取りまとめます。

(京都国際マンガ・アニメフェア URL : <http://kyomaf.jp/>)

(京都版トキワ荘事業 URL : <http://tokiwa-so.net/kyoto/>)

○企業誘致や流出防止

1 戰略的企業誘致の推進（新産業振興室）

ハード部門とソフト部門の両面に係る相談をワンストップで受ける「企業立地総合支援窓口」により、地区計画などの都市計画手法の活用等による事業環境の整備を推進するとともに、企業立地促進助成制度の運用を通じて、市内企業の市外流出を防止し、市外からの企業さらには海外からの企業を誘致に力を入れていきます。また、新たな産業集積を産み出すため、市内のまとまった土地や未活用の工業用地等の活用・開発などによる新たな産業用地の創出に取り組みます。

(URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/26-2-0-0-0-0-0-0-0.html>)

○伝統産業の活性化

1 第3期京都市伝統産業活性化推進計画（仮称）の策定（伝統産業課）

京都の伝統産業を取り巻く状況や今日的な課題を踏まえ、これまでの取組成果や業界の現状分析のほか、新たな市場の構築に繋げるためのマーケティング調査等を行い、京都市伝統産業活性化推進条例に基づく第3期計画を策定する。

2 京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業（伝統産業課）

京都伝統産業ふれあい館について、観光との連携やビジネスの視点を取り入れながら、若手職人等による異業種交流の促進や工房訪問事業の展開など、伝統産業の更なる活性化を推進する。

3 京もの海外進出支援事業（伝統産業課）

海外の市場ニーズにあった「商品」を海外デザイナーとともに開発する「Kyoto Contemporary」及び海外の建築資材やインテリア市場に「素材」を提案する「Kyoto Connection」の2つのアプローチにより商品を開発し、国際見本市への出展・展示商談会の開催を行うなど、海外販路開拓を推進する。

4 伊藤若冲生誕300年記念伝統産業活性化支援事業（伝統産業課）

江戸時代中期に京都で活躍した絵師・伊藤若冲の生誕300年という節目の年を迎えることから、これを契機に、伝統産業界が実施する若冲を題材とした販売促進事業等を支援し、相乗効果による伝統産業の振興を図ります。

○地域商業・商店街の振興

1 商店街等支援事業（商業振興課）

地域コミュニティの一翼を担う商店街の活性化のため、アーケードやカラー舗装などの共同施設の設置・改修等のハード事業や、地域の魅力の向上に資する事業などのソフト事業に対して助成し、商店街の賑わいづくりを促進します。また、各商店街のニーズや課題に応じた支援策を実施するため、商店街へのヒアリングを行い、支援策を講じていきます。

2 都心部地域商業活性化事業（商業振興課）

都心部地域をはじめとする市内の商業者等のネットワーク形成を図るために、商業者の交流の場づくりを行うとともに、当該ネットワークを通じて生まれる自主的な取組の具体化を支援します。

3 空き店舗流通促進モデル事業（商業振興課）

商店街等では、経営者の高齢化や後継者不足、地域住民のライフスタイルの変化等により空き店舗が増加傾向にあります。そこで、商店街等の空き店舗所有者と出店希望者が信頼関係を築くことに重点を置いたマッチングを行い、空き店舗への出店を促します。

4 伊藤若冲生誕300年記念商業活性化支援事業（商業振興課）

江戸時代中期に京都で活躍した絵師・伊藤若冲の生誕300年という節目の年を迎えることから、これを契機に、商店街等が実施する若冲を題材とした販売促進事業等を支援し、相乗効果による商店街等の振興を図ります。

○世界があこがれる観光都市の実現及び世界に冠たる国際MICE都市への飛躍

1 京都観光を総合的に担う推進体制（DMO）の構築及び観光案内機能の強化（観光MICE推進室）

観光を取り巻く目まぐるしい変化にしなやかに対応し、世界を見据えた戦略と実行体制の更なる進化を図るため、京都市観光協会を中心に関連団体との緊密な連携の下、マーケティング機能の体制を強化するなど、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる組織（京都市版DMO）の構築を目指します。

併せて、京都市観光協会のノウハウを活かし、河原町三条の朝日会館1階に新たな観光情報・案内コーナーを設置します。

2 京都市認定通訳ガイド（特区通訳案内士）の活躍支援（観光MICE推進室）

観光消費額の更なる増加を目的として、伝統産業や文化財といった京都の奥深い魅力を外国人観光客に伝えることができる京都市認定通訳ガイドを育成し、第1期生を認定するとともに、第2期生の認定に向けた募集・基礎研修を実施します。併せて、認定通訳ガイドが最大限活躍できるよう、人財バンクの構築を行います。

3 外国人観光客の買物環境向上事業（観光MICE推進室）

本市を訪れる外国人観光客が大幅に増加していることを受け、マナー問題に対応していくとともに、外国人観光客の旺盛な消費意欲を京都経済の活性化に繋げていくため、外国人観光客の受入対応に積極的な事業者に対して、免税店化の相談や外国語研修の開催などの支援事業を実施し、買い物環境の整備を推進します。

4 京都・花灯路事業（観光MICE推進室）

宿泊型・通年型観光のシンボル事業として、京都ならではの寺院・神社をはじめとする歴史的な文化遺産やまち並みなどに日本情緒豊かな陰影のある露地行灯の「灯り」と、いけばな作品の「花」により、思わず歩きたくなる路、華やぎのある路を演出します。平成14年度から東山地域で、平成17年度からは、嵯峨・嵐山地域においても実施しています。

<平成28年度実施内容>

- ・ 京都・嵐山花灯路－2016
開催時期 平成28年12月9日（金）～18日（日）
会 場 嵯峨・嵐山地域（渡月橋～竹林の小径～長神の杜など）
- ・ 京都・東山花灯路－2017
開催時期 平成29年3月3日（金）～12日（日）
会 場 東山地域（青蓮院～円山公園～清水寺）

5 京の七夕事業（観光MICE推進室）

「一年に一度願いごとをする」という七夕にちなんで、「願い」をテーマに「京の七夕」事業を開催します。今年度から堀川・鴨川会場以外に民間事業者・市民団体等の連携・協力の下、会場の拡充を行い、「京の七夕」全体として開催エリア、開催期間の充実を図ります。

<平成28年度実施内容>

(1) 開催期間

8月を「京の七夕」の全体会期とし、この全体会期の中で各会場がそれぞれ開催期間を設定

- ・ 堀川・鴨川会場：平成28年8月6日（土）～12日（金）
- ・ 北野紙屋川会場：平成28年8月1日（月）～14日（日）
- ・ 二条城会場：平成28年8月3日（水）～15日（月）
- ・ 岡崎会場：平成28年8月11日（木・祝）～14日（日）
- ・ 梅小路会場：平成28年8月上旬予定

※ 会場は、4月末時点のもので、今後、追加される可能性があります。

(2) 会場及び内容

- ・ 堀川会場（御池通～一条戻り橋付近）：堀川遊歩道において、光の天の川や笹飾りなど竹と光により演出
- ・ 鴨川会場（仏光寺通～御池通）：風鈴灯、竹と灯りの散策路など
- ・ 北野紙屋川会場：境内夜間特別参拝や史跡御土居のライトアップなど
- ・ 二条城会場：庭園のライトアップなど
- ・ 岡崎会場：平安神宮大鳥居や公園のライトアップなど
- ・ 梅小路会場：公園内のライトアップなど

(3) 協賛事業

- ・ 寺院、神社、門前会等：特別拝観、七夕飾り、和装優待など
- ・ 商店街等：七夕イベント、七夕飾りなど

6 複数自治体連携による海外富裕層誘客（観光MICE推進室）

「日本・京都」の世界における富裕層の訪問先としての確固たる地位の確立を図るため、本市を中心とした複数自治体の連携による「日本ラグジュアリートラベルアライアンス（仮称）」を構築し、共同で世界の富有層の観光誘致に取り組みます。

7 京都の食を活かした観光による地域活性化事業（観光MICE推進室）

「京都をつなぐ無形文化遺産」にも選定されている「京の食文化」を未来に繋げていくため、食文化・食イベントの情報発信を強化するとともに、地域における特色ある地場産品（農産物、土産物、料理等）を活用したツアーのプラン化に取り組み、京都観光の魅力の増進と地域の活性化を図ります。

8 グローバルMICE都市としてのMICE戦略推進事業（観光MICE推進室）

グローバルMICE都市として、東京都との連携による共同での情報発信、相互の情報交換等や、大学との連携によるMICE相談窓口設置などの取組を行い、「京都市MICE戦略2020」を推進します。

9 旅館やホテルをはじめとする安心・安全で多様な宿泊環境の充実（観光MICE推進室）

京都観光の更なる発展に向け、安心・安全で市民生活と調和した「京都方式」とも言える宿泊施設の普及手法の構築を含め、宿泊施設を充実させる支援の方策等を盛り込んだ「宿泊施設拡充・誘致方針（仮称）」を策定します。

○農林業の振興

1 担い手育成支援事業（農政企画課）

経営の自立を目指す農業者に対し、各農業振興センター及び京北農林業振興センターが経営相談に応じるとともに、後継者の育成支援活動に取組みます。併せて、地域の中心となる担い手農業者に対し、農業機械等の導入を支援し、付加価値の高い農業生産を推進します。

2 新規就農総合支援事業～農力開発～（農政企画課）

新規就農者に対し、就農後最大5年間の資金的支援を行う青年就農給付金制度に引き続き取り組むとともに、栽培技術をはじめ農業経営全般や、既存農家との良好な関係構築のための地域農業の習慣等に関する助言や情報収集を行う新規就農サポーターを設置し、地域農業の担い手を育成します。

3 京の旬野菜推奨事業（農業振興整備課）

栄養価が高い旬の地場野菜の消費拡大とともに、農薬使用に係る安全性確認を図るなど、安全・安心で環境負荷の少ない野菜生産の振興により、地産地消を推進します。

(URL: <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000001085.html>)

4 京の食文化を支える生産・流通・消費体制強化事業（農業振興整備課）

付加価値の高い新京野菜（京てまり、京唐菜等）や伝統野菜等について、地域独自の品目として選定し、生産・流通・販売体制の強化に取り組みます。併せて、飲食店との連携や消費拡大イベントの開催等により、京野菜の生産振興と消費拡大を図ります。

5 「京の花」産業振興戦略の推進（農業振興整備課）

京の花文化の継承と花による豊かな市民生活の実現、花関連産業全体の振興を図るため、花関連業界団体が主体となり、生産・流通・消費の各段階における現状と課題等を調査し、長期的な展望に立った戦略として、新たなネットワークづくりと今後進めていくべき振興策の検討、モデル事業の実施を支援します。

6 農業・農村多面的機能強化事業（農政企画課、農業振興整備課）

農家や地域住民が参加する活動組織が行う、農地、水路、農道等の機能を維持するための取組やこれらの機能を増進するための改良、補修等の取組、中山間地域等における農業生産活動の継続を推進する取組、自然環境の保全に資する農業生産活動を推進する取組を支援し、農業や農村の持つ多面的機能の維持を図ります。

7 農業用施設防災・減災対策事業（農業振興整備課）

農業用施設としての機能のみならず、災害を防止する治水施設としても重要な役割を担っている農業用水路の取水ゲートについて、近年の度重なる豪雨被害を踏まえ、老朽化が進んだ箇所の改修を行うとともに、関係農家の保守管理の負担軽減を図るための電動化改修を計画的に行います。

8 農業用水路に治水機能を付加した雨に強いまちづくり推進事業（農業振興整備課）

都市排水路としての機能が主となっている農業用水路を選定し、取水施設の適正管理等を産業観光局と農業者が担い、適正な治水管理を建設局及び上下水道局が担うことができるよう、水路の補修、堆積土砂のしゅんせつ、不用な利水施設の撤去等を行い、市民生活の安心安全の確保を図ります。

9 京都京北未来かがやきビジョンの推進～京北京野菜生産応援事業～（農業振興整備課）

京北地域にパイプハウスを整備し、高品質の野菜を周年栽培する環境を整え、農業者の所得向上及び担い手組織の育成を図ります。

10 京都京北未来かがやきビジョンの推進～京北水田フル活用プロジェクト生産基盤の整備～

（農業振興整備課）

畠地の多い京北地域で地下水位制御のパイプライン「フォアス」を整備し、水田の土地利用転換により生産性を高め、大豆の里京北の推進を図ります。

11 京都京北未来かがやきビジョンの推進～京北森林公园利用促進事業～（林業振興課）

京北森林公园の余暇・レクリエーション施設としての魅力を高めるため、案内看板や遊具を充実することで、京北地域を訪れた方の森林公园への誘導を促し、滞在型アウトドア観光・グリーンツーリズムの推進を図ります。

12 京都京北未来かがやきビジョンの推進～京都“悠久の灯”プロジェクトの推進～（林業振興課）

本市の伝統産業の一つである「和蠟燭」の地産地消を目指し、良質なハゼ蠟を京都で抽出できるようにするため、京北地域において、ハゼノキ育成品種「ブドウハゼ」の育成技術の確立を図ります。

13 災害に強い森づくりの推進（林業振興課）

森林の有する水源の涵養や国土の保全などの多面的機能の強化を図るため、林内に放置された間伐材等の搬出や担い手の育成を支援するとともに、森林整備の基幹施設となる林道等の簡易な維持管理活動を支援します。

14 京都らしい森づくりの推進（農政企画課、林業振興課）

京都らしい森林や竹林の景観を保全するため、生育条件が悪く放置され荒廃した森林や竹林を、景観にも配慮した美しい状態に再生するモデル的な取組等を実施します。

15 木のあるまちづくりの推進（観光MICE推進室、林業振興課）

木材の生産・加工から消費に至る循環型の流れを促進するため、市内産木材（みやこ桧木）の新たな利用に向けた取組として、名所旧跡を案内する看板への市内産木材の利用を促進するとともに、市民をはじめ木材利用に関係する建築士等に広く市内産木材（みやこ桧木）の利活用を啓発します。

○不本意非正規の正規雇用化など、安定雇用の創出や担い手確保

1 京都中小企業担い手確保・定着支援事業（産業政策課）

市内の中小企業の成長を支える担い手の確保を図るため、キャンパスプラザ京都を拠点に「京都市わかもの就職支援センター」を設置し、WEBサイト京都ジョブナビ「京のまち企業訪問」等による中小企業の情報発信の強化や、企業の魅力を体感できる職場体験の取組等を支援するほか、若者同士の交流会の実施等を通じた定着支援の取組など、就職から定着まで一貫した支援を行います。

また、非正規雇用の多い現状を踏まえ、非正規率の高い業界や学識経験者、行政等で構成する研究会を設置し、安定雇用・雇用の質の向上に向けた京都ならではの働き方改革の調査・検討を行います。

(WEBサイト京都ジョブナビ「京のまち企業訪問」URL：<http://www5.city.kyoto.jp/kigyo/>)

2 京都次世代ものづくり産業正規雇用創出プロジェクト

オール京都体制のもと、国の「戦略産業雇用創造プロジェクト」を活用し、産業政策と雇用政策を一体的に推進することで、次世代のものづくり産業が必要とする担い手の確保やイノベーションを支援し、今後の発展が期待される分野での新産業創造と企業の付加価値の向上を促し、質の高い安定した雇用の創出を図ります。

(URL：<http://kyoto-koyop.jp/>)

○中央卸売市場整備の推進

1 中央卸売市場の活性化（中央卸売市場第一市場、中央卸売市場第二市場）

京都市中央卸売市場は、次世代を見据えた京都の食文化及び食育の拠点としての役割を担っているとともに、生鮮食料品等の流通拠点として重要な役割も担っています。

第一市場では、「京都市中央卸売市場第一市場マスターplan」に基づき、食への信頼と京の食文化を支える「先進的食品流通拠点」を目指した取組を推進します。また、市場の再整備については、「京都市中央市場施設整備基本計画」に基づき、水産棟改修をはじめとする基本設計及び実施設計に取り組むとともに、順次設計が完了した各仮設店舗等の建設に取り掛かります。

(URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000195973.html>)

(京都市中央卸売第一市場マスターplan)

(URL: <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000180977.html>)

(京都市中央市場施設整備基本計画)

第二市場では、^{みやこ}「京ミートマーケットマスターplan」に基づき実施している施設の再整備工事について、平成30年度の新施設稼働を目指し、市場本棟の建設工事に着手します。

また、平成26年4月に一元化された卸売会社に対し、経営改革に向けた指導・支援等を行うことにより、市場機能の充実・強化に取り組みます。

(URL:<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu2/category/34-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>)

平成28年度予算の概要

1 京都市予算の概要

平成28年度予算は、「こころの創生」を重視した京都ならではの地方創生「京都創生」を参加と協働により推進することにより、人々が豊かさを感じ、安心安全に暮らせるまちづくり進め、「人口減少社会」の克服に挑戦するとともに、「はばたけ未来へ！ 京プラン」に掲げる未来像の実現に向けた後期実施計画の初年度として、力強いスタートを切る予算（後期実施計画骨子の55の重点プロジェクトの90%以上にあたる53プロジェクトを予算計上として編成しました。

こうした基本姿勢の下、以下の4点を予算編成にあたって重視しています。

- ① 京都の知恵と強みを活かした成長戦略を推進し、京都経済の更なる活性化と好循環、安定した雇用の創出を図り、市民が豊かさを実感できる社会を実現
- ② 福祉を更に充実させ、防災・減災対策を加速するとともに、市民ぐるみで世界一安心安全なまちづくりを推進。同時に「京都で子育てして良かった」「京都で学んで良かった」と実感できる全国トップレベルの子育て環境、教育環境を一層充実
- ③ 京都の誇る文化・芸術、環境に優しい循環型社会、「歩くまち・京都」など、京都ならではの魅力の向上
- ④ 市民一人ひとりが“みんなごと”としてまちづくりに取組む新たな仕組みを構築し、市民が主役の姿勢を推進

2 平成28年度産業観光局予算の概要

平成28年度の産業観光局の一般会計予算額は約612億円で、前年度当初予算と比べ、約233億円

(27.6%)の減、その他特別会計では約52億円を計上し、前年度当初予算と比べ、約10億円

(23.8%)の増となっています。(雇用対策事業特別会計については27年度をもって廃止)

産業観光局の役割は、人口の減少や、経済のグローバル化及び高度情報化の進展といった社会の変化に的確に対応し、京都経済の活性化を図り、産業の振興を通じて市民の暮らしと地域社会を支えることです。

そのため、28年度予算編成においては、

- I. 安定した雇用と安定した所得の確保
- II. 本市経済の活性化と市税収入の増加
- III. 地域の賑わいと魅力づくり

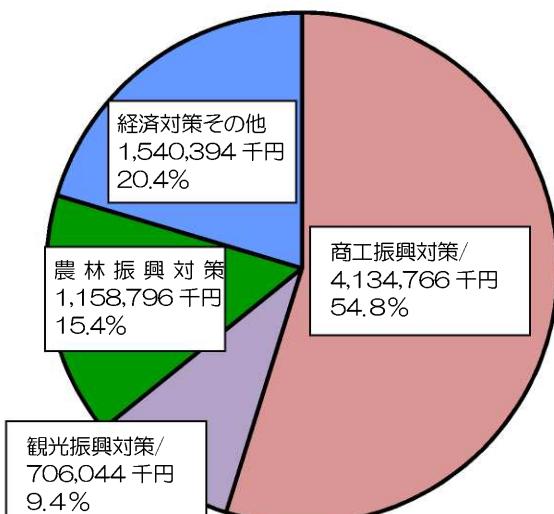
の3つを柱として、地域経済の好循環につながるよう、産業振興と地域振興を総合的に展開してまいります。

<参考>一般会計予算の規模等

区分	28年度当初予算	27年度当初予算	対前年度比較(増減率)
京都市一般会計	7,277億円	7,504億円	227億円 (△3.0%)
うち産業観光局分	612億円	845億円	233億円 (△27.6%)

* 産業観光局一般会計歳出予算の内訳（給与費約17億、中小企業融資制度預託金520億円を除く。）

平成28年度当初予算 75億円（参考：平成27年度当初予算 67億円）



分野別対策	予算額 千円	構成比 %
商工振興対策	4,134,766	54.8
創業・新事業創出への支援	219,246	2.9
企業立地促進	568,644	7.6
新規成長分野への支援	457,231	6
産業振興対策	2,215,610	29.4
商業振興対策	103,945	1.4
伝統産業振興対策	197,405	2.6
中小企業振興対策	372,685	4.9
観光振興対策	706,044	9.4
農林振興対策	1,158,796	15.4
経済対策その他	1,540,394	20.4